

在宅医療推進へ



厚生労働省の受託事業「在宅医療連携拠点事業」に取り組んでいる南東北ブロックの拠点事業所活動発表会が26日、鶴岡市馬場町の鶴岡地区医師会館で開かれた。本県で唯一受託している鶴岡地区医師会(三原一郎会長)をはじめ、近隣県の計7事業所の関係者が在宅医療の推進に向け、医療・介護の連携の課題抽出や従事者の負担軽減策など、それぞれの取り組みを発表、意見を交わした。

介護との連携や負担軽減 南東北ブロック 拠点事業所、鶴岡で活動発表会

在宅医療連携拠点事業度、医師会としてのモデル確立に向け、全国10カ所の中で唯一の医師会として受託。医師会館内に在宅医療連携拠点事業室「ほたる」を開設して専任スタッフを配置し、医療・福祉・保険に関する総合的な相談窓口の開設、ショートステイの空き情報の提供、鶴岡地区歯科医師会と連携した在宅口腔ケアの推進、医療情報を共有する既存の医師会のシステム「NET4U」の介護系への利用促進などに取り組んでいる。本年度も受託している。

在宅医療の推進に向け、南東北ブロックの受託事業者が取り組みを発表

在宅医療の推進に向け、南東北ブロックの受託事業者が取り組みを発表

この日は南東北ブロック(宮城、山形、福島、新潟の4県)で受託している病院や診療所、訪問看護ステーションなど9事業所のうち、7事業所の関係者、合わせて約40人が参加。本年度の取り組みを発表した。

このうち鶴岡地区医師会を

新議員10人決まる

三川町議選 1人超の激戦、現職が

新人がトップ当選
任期満了に伴う三川町議選は27日に投票が行われ、即日開票の結果、現職7人、新人3人の計10人の新議員が決まった。

2面に当選者一覧
4年前の前回と同様に大きな争点がなく、各陣営とも地元を重視した選挙戦を展開したが、投票率が伸びず、多くの現職が前回より票を減らした。そうした中で、現職議員の空白地域から出馬した新人が現職組を抑えてトップ当選を果たす一方、2期目の当選を目指した

新人がトップ当選
任期満了に伴う三川町議選は27日に投票が行われ、即日開票の結果、現職7人、新人3人の計10人の新議員が決まった。

町議選 (定数10)

昌弘	54	無	新
茂吉	62	無	現
晃	57	共	新
徳久	62	無	現
栄市	58	無	現
光雄	62	無	現
正治	63	無	新
善午	63	無	現

荘内日報

1月29日(火)
発行所 荘内日報社
本社 / 〒997-0035 鶴岡市馬場町8-29 電話0235(22)1480(代)
酒田支社 / 〒998-0045 酒田市二番町6-2 電話0234(22)4244(代)
©荘内日報社 2013

購読のお申し込み
TEL(0235) 22-148
編集局直通
TEL(0235) 22-1482
FAX(0235) 22-1427
広告のお申し込み
TEL(0235) 22-1479
FAX(0235) 22-2633
印刷のお申し込み
TEL(0235) 22-1724
ホームページ
http://www.shonai-nippo.co.jp

四季折々のおいしさに
マルノーしょうゆみそ
JA山形農工連
酒田市砂越字上川原四番地の1
☎0234(5)31000(代)

・島貴設子さんが、訪問歯科診療の相談窓口の開設をはじめ、訪問看護師の負担軽減に向けたアンケートと課題の整理、地区の在宅医療資源(病院、歯科医、薬局、介護施設など)のマップ作成とホームページ公開など、本年度の新規の取り組みを中心に紹介した。また、患者・家族・介護者らが健康情報や伝言などを共有できる新たな情報システム「Note4U」を来月末ごろにも運用開始する方針を示した。

意見交換では「在宅医療に関心のある医師が少なく、多職種対象の研修